	1	-				1、2、10年末計画在心場日間至初				
lo. 大分類 No.	中分類	No. 事業名	平成27年度実績	平成28年度実績	第 1 期 平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	第 令和2年度実績(見込)	2 期 令和3年度の展望(継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
社会全体で 子育て家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	子育で支援 1 センターの 充実	利用者支援専門員を配置。 相談件数 104件	子育で支援センターだけでなく、市内各公共施設 (にこにこ 広場) に出向き、各現場で相談業務を受けた。 相談件数 183件	センター広場に職員を常駐。また、子育て支援センターだけでなく、市内各公共施設(にこにこ広場)に出向き、各現りで相談業務を受けた。 相談件数133件	ナセンター広場に職員を常駐。また、子育て支援センターだけ 景でなく、市内各公共施設(にこにこ広場・おひさま広場)に 出向き、各現場で相談業務を受けた。 相談件数127件	センター広場に職員を配置。子育で支援センターだけでな く、市内公共施設(にこにこ広場・おひさま広場)に出向 き、各現場で相談業務を受けた。 相談件数73件	: 子育て支援センター及び市内各公共施設の子育て支援広場に て相談業務を受ける。	継続 利用者支援専門員が利用者のニーズに応じた情報提供など 行うことによって、子育て支援機能をさらに充実させるが め。	を子育て支持たセンター
社会全体で 子 子 支 え る ま ち づ く り り ろ う く り る う く り く り く り く り り り り り り り り り り り り	子育て支援 サービスの 充実	のびのび預 2 かり保育事 業の充実	のびのび預り保育利用者数 1,503人 毎週金曜日は健康福祉センターにて一時預かり事業を行う。	のびのび預かり保育利用者 1,484人 毎週金曜日は健康福祉センターにて預かり保育を行う。	のびのび預かり保育利用者1,196人 毎週金曜日は健康福祉センターにて預かり保育を行う。	のびのび預かり保育利用者1,358人 毎週金曜日は健康福祉センターにて預かり保育を行う。	のびのび預かり保育利用者1,254人 毎週金曜日は健康福祉センターにて預かり保育を行う。	火曜日~木曜日は子育て支援センターで預かり保育を行う。 金曜日は健康福祉センターで預かり保育を行う。	継続 健康福祉センターで実施することで利便性が向上しているが め。 令和3年度も引き続きサービスを行う。	た 子育て支
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援サービスの充実	3 育て支援事 業の充実	西部公民館 3,710人 ふれあい交流館 2,806人 北部多目的センター 406人 入出はつらつセンター 437人 南部構造改善センター 588人	西部公民館 2,895人 ふれあい交流館 3,031人 北部多目的センター 530人 入出はつらつセンター 477人 南部構造改善センター 398人	西部公民館 3,168人 ふれあい交流館 2,224人 北部多目的センター 361人 入出はつらっセンター 514人 南部構造改善センター 219人	西部地域センター 2,780人 ふれあい交流館 2,128人 北部多目的センター 357人 入出はつらっセンター 270人 南部構造改善センター 125人	西部地域センター 2.371人 ふれあい交流館 1.498人 北部多目的センター 168人 入出はつらつセンター 328人 南部構造改善センター 34人	市内5ヶ所で子育て支援事業を実施する。	継続 親子のふれあいや保護者同士の交流、子育てに関する相談 できる場を各地域において提供していく必要があるため。	子育で支持センター
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	保育園の子 育て支援相 談事業の充 実	保育園 7 園こども園 1 園において、月 1 回子育で相談日を設けたり、日常において、子育て家庭の育児不安等についての相談を行ったり、子育で情報を発信している。 相談件数 1、499件 内容(食事、排せつ、成長等)	保育園 7 園こども園 1 園において、月 1 回子育で相談日を記けたり、日常において、子育て家庭の育児不安等についての相談を行ったり、子育で情報を発信している。相談件数 1,383件 内容 (友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排消等)	対保育園 7 園・こども園 1 園において、月 1 回子育で相談日 2)設け、日常における子育で家庭の育児不安等についての相談を行ったり、子育で情報を発信している。 相談件数 1,437件 は第一次で(友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排消等)	を 保育園 5 園・ごども園 3 園において、月 1 回子育て相談日を 接 設け、日常における子育で家庭の育児不安等についての相談 を行ったり、子育で情報を発信している。 相談件数 1,156件 世内容(友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排泄 等)	保育園6園・こども園3園において、月1回子育て相談日を 設け、日常における子育で家庭の育児不安等についての相談 を行ったり、子育で情報を発信している。 相談件数 972件 内容(友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排泄 等)	保育園6園・こども園5園において、月1回子育て相談日8 設け、日常における子育で家庭の育児不安等についての相談 を行ったり、子育で情報を発信している。 相談件数 800件 内容(友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排泄等)	継続 保護者の育児不安解消のため、充実に努める。	幼児教育課
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	幼稚園の相 5 談事業の充 実	応じて、子育てや就学に向けての相談を受け不安解消の一助	公立幼稚園 6 園において、月 1 回または随時保護者の要請に 応じて、子育てや就学に向けての相談を受け不安解消の一般 としている。 相談件数 289回、228人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	こ公立幼稚園 6 園において、月1回又は随時、保護者の要請力 が応じ子育でや就学に向けての相談を受け、不安解消の一助さ している。 相談件数 460回、535人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	こ 公立幼稚園 6 園において、月 1 回又は随時、保護者の要請に と応じ子育でや就学に向けての相談を受け、不安解消の一助と している。 相談件数 464回、376人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	公立幼稚園 6 園において、月 1 回又は随時、保護者の要請に 応じ子育でや就学に向けての相談を受け、不安解消の一助と している。 相談件数 372回、 391人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	公立幼稚園5園において、月1回又は随時、保護者の要請に 応じ子育でや就学に向けての相談を受け、不安解消の一助と している。 相談件数 350回、 350人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	継続 保護者の育児不安解消のため、充実に努める。	幼児教育課
社会全体で 子育で家庭 1 をうえるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	保健師等の 育児相談事 業の充実	随時電話相談や訪問、育児相談日の相談、母子手帳交付時の 個別相談の実施。	随時電話相談や訪問、育児相談日の相談、母子手帳交付時の 個別相談の実施。	母子手帳交付時から地区担当保健師の一覧表を配り、出産企 り訪問前に電話かけ、離乳食数室で自己紹介をするなど保健的 が見える、また切れ目なくかかわることによって相談した。 い環境の整備	を 費 母子手帳交付を随時窓口で交付し、妊婦への個別相談を充実 高させる。切れ目のない支援を行うため、妊娠中からブランを 1 作成し妊娠中からの支援を強化する。	母子手帳交付を随時窓口で交付し、妊婦への個別相談を充実 させる。切れ目のない支援を行うため、妊娠中からブランを 作成し妊娠中からの支援を実施した。	母子手帳交付を随時窓口で交付し、妊婦への個別相談を充実 させる。切れ目のない支援を行うため、妊娠中からブランを 作成し妊娠中からの支援を実施する。	継続	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支担 課
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	7 ネットワー ク化		要保護児童対策地域協議会実務者会議(さわやか親子支援連 務会)を年11回開催し、問題を抱える家庭・児童について、 児童相談所・警察・民生・児童委員等関係機関と対応の協議 を行っている。 相談件数 児童1,377件、成人63件(H29.3末時点)	絡会)を年11回開催し、問題を抱える家庭・児童について、	絡会)を年11回開催し、問題を抱える家庭・児童について、	要保護児童対策地域協議会実務者会議(さわやか親子支援連 務会)を年11回開催し、問題を抱える家庭・児童について、 児童相談所・警察・民生・児童委員等関係機関と対応の協議 を行っている。 相談件数 児童2,275件、成人87件(R2.3末時点)	絡会)を年11回開催し、問題を抱える家庭・児童について、	継続 相談支援体制の強化に努める。	子育で支援課
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	相談機関の 7 ネットワー ク化	主任児童委員 (6名) 相談受付件数 231件	主任児童委員 (6名) 相談受付件数 201件	主任児童委員 (6名) 相談受付件数 195件	主任児童委員 (6名) 相談受付件数 280件	主任児童委員 (6名) 相談委付件数 312件	主任児童委員 (6名) 相談受付件数 150件 ※新型コロナウイルスの影響により、相談対応件数が減少。	継続	地域福祉課
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	相談機関の 7 ネットワー ク化	育児相談 実施回数12回、利用者延べ443人	育児相談 実施回数12回、利用者疑べ520人	育児相談 実施回数12回、利用者延べ521人	育児相談 実施回数12回、利用者延べ642人	育児相談 実施回数12回 利用者延べ398人	育児相談 実施回数8回 利用者延べ117人 (12月末時点)	継続	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
社会全体で 子育て家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	1 ネットワー クル	金)・西部公民館(火·木·土)で受付しており、11件の相談 を受けた。内容は、学校・家庭問題、障害・性格問題などで	ヤングダイヤルこさいでの電話相談は、市民会館(月・水・ 金)・西部公民館(火・木・土)で受付しており、17件の相談 を受けた。内容は、学校・家庭問題、障害・性格問題などで あった。	ヤングダイヤルこさいでの電話相談は、市民活動センター (月・水・金)・西部公民館(火・木・土)で受付しており、11 件の相談を受けた。内容は、学校・家庭問題などであった。		ヤングダイヤルこさいでの電話相談は、市民活動センター (月・水・金)・西部地域センター (火・木・土)で受付しており、6件の相談を受けた。内容は、学校・家庭問題などである。	ヤングダイヤルこさいでの電話相談は、市民活動センター (月・水・金)・西部地域センター (火・木・土)で受付しており、10月末時点で3件の相談を受けた。内容は、学校・家庭 問題などである。年間6件程度の相談があることを見込んで いる。	市民活動センター・西部地域センターで社会教育指導員によ る電話相談を継続する。	社会教育課
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	供機能の強		毎月ウェブサイトを更新し、通信を掲載。 季節のイベントについて市役所だよりやウェブサイト、館内 ポスターにて情報提供。 利用者支援専門員と西部公民館おひさま広場について、市役 所だよりにて改めて周知した。		毎月ウェブサイトを更新し、通信を掲載。 季節のイベントについて市役所だよりやウェブサイト、館内 ポスターにで精報提供。 利用者支援専門員と西部地域センターおひさま広場について も市役所だよりにて周知継続。	位 秋 C C V 1 C 1 日 C 旧 秋 内 秋 1 T と 唯 水 C 、 母 万 0 万 戦 と 他	ウェブサイトの更新と通信の発行を毎月行う。 広報こさいで子育て情報を発信する。	継続 様々な情報提供ツールを活用し、子育て支援事業の周知をす ることが、支援サービスの充実につながるため。	- 子育て支援 センター
社会全体で 子育で家庭 1 を支えるま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	子育てに関 する情報提 供機能の強 化	予防接種、健診等に関する情報を広報、ウェブサイトで周知	予防接種、健診等に関する情報を広報、ウェブサイトで周知	予防接種、健診等に関する情報を広報、ウェブサイトで周知	予防接種、健診等に関する情報を広報、ウェブサイトで周知	予防接種、健診等に関する情報を広報、ウェブサイトで周知	予防接種、健診等に関する情報を広報、ウェブサイトで周知	継続	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
社会全体で 1 子育で表るま ちづくり	子育て支援 サービスの 充実	放課後子ど 9 も教室の充	み28回)実施し、参加児童総数207名で各種の体験活動を実施 した。参加児童には放課後児童クラブ加入児童も含まれ、放 課後児童クラブと一体型又は連携型により実施した。小学校 長・保護者代表・地域住民代表・子ども教室代表・児童クラ	み28回)実施し、参加児童総数195名で各種の体験活動を実施 した。参加児童に放課後児童クラブ加凡児童も含まれ、放 課後児童クラブと一体型又は連携型により実施した。小学校 長・保護者代表・地域住民代表・子ども教室代表・児童クラ	放課後子ども教室を市内小学校全校で各校年間14回 (2学級制 の 部準小は20回、岡崎小は24回) 実施し、参加児童総数247名 で各種の体験活動を実施した。参加児童には放課後児童クラ ブ加入児童も含まれ、放課後児童クラフと一体型又は連携型 により実施した。小学校長・保護者代表・地域住民代表・子 ども教室代表・児童クラブ代表で組織された放課後子どもブ ラン推進事業運営委員会で計画の検討を行った。	"の鷲津小・岡崎小は28回・新居小は27回)実施し、参加児童 ・総数24名で名籍の体験活動を実施している。参加児童には放 課後児童クラブ加入児童も含まれ、放課後児童クラブと一体 型又は連携型により実施している。小学校長・保護者代表・ 地域住民代表・子ども教室代表・児童ケラブ代表で組織され	放課後子ども教室を市内小学校全校で実施(2学級制の鷲津小 27回、岡崎小25回・新居小24回、1学級制の東バイロ・知波田 が14回・白須賀小13回)、参加児童総数203名で各種の体験 活動を実施した。参加児童には放課後児童クラブ加入児童も 含まれ、放課後児童クラブと一体型又は連携型により実施した。小学校長・保護者代表・地域住民代表・子ども教室代 表・児童クラブ代表で組織された放課後子どもブラン推進事 業選書委員会で計画の検討を行った。	により、市内小学校全校(6校)で実施することを予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は実施しないことを決定している。 放課後子どもブラン推進事業運営委員会で計画検討・実績検	放課後子ども教室を、放課後児童クラブと一体型又は連携型 により、市内小学校全校(6校)で実施することを継続する。 放課後子どガラン推進事業連営委員会で計画検討・実績検 証を行うことを継続する。	。 计令数套理
社会全体で 子育で家庭 2 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実		保育園 7 園、こども園 1 園 2.3号認定定員 846名 3月末利用者数 938名	保育園 7 園、こども園 1 園 2. 3 号認定定員 846名 3 月末利用者数 948名	保育園 7 園、こども園 1 園 2 ・3 等認定定員 846人 3 月末利用者 972人	保育園5園、こども園3園 2・3号設定定員 856人 3月末利用者 969人	保育園 5 園、こども園 3 園、小規模保育事業所 1 園 2・3 号認定定員 874人(きりつ保:+18) 3 月末利用者 963人	保育園5園、こども園5園、小規模保育事業所2園 2・3号認定定員 1,102人 (新居幼:+119、真愛三ツ谷こ:90、吉美風の子保:19) 3月末利用者 963人	継続 保育受入体制確保のため、公立幼稚園のこども園化について検討し、関係登録と調整する。また、民間保育園の増築 望に対する後後や、産業振興課と連携し、企業主導型保育 業の周知・相談に努める。	要 幼児教育課
社会全体で 子育で家庭 2 を支えるま ちづくり	保育サービスの充実	2 延長保育の 充実	入所者数 938人中、延長保育利用者 331人 述べ利用者数 9,949人 内、1時間利用者 3,235人、30分利用者 6,714人	入所者数 948人中、延長保育利用者 329人 述べ利用者数 8,278人 内、1時間利用者 2,385人、30分利用者 5,893人	入所者972人中、利用者325人(述べ16,712人)。 内、1時間利用者2,179人、30分利用者5,206人。	入所者969人中、利用者354人(述べ8,894人)。 内、1時間利用者2,199人、30分利用者6,695人。	入所者963人中、利用者320人(述べ8.542人)。 内、1時間利用者2.404人、30分利用者6,138人。	入所者968人中、利用者350人(述べ6,514人)。 内、1時間利用者1,678人、30分利用者4,836人。	継続 保護者の多様な保育ニーズに合わせ、働きながら子育でる しやすい体制づくりに資する。	を幼児教育課
社会全体で 子育で家庭 7 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	3 一時預かり 事業の充実	保育園利用者 利用人数 336人 述べ利用人数 1,429人 幼稚園一時預かり事業実施園 幼稚園4園こども園1園	保育園一時預かり事業実施園 保育園7園こども園1園 保育園利用名 利用人数 213人 述べ利用人数 1,563人 幼稚園一時預かり事業実施園 幼稚園4園ごども園1園 幼稚園利用者 利用人数 1,723人 述べ利用人数 6,156人	保育園一時預かり事業(保育園7園、こども園1園) 利用者 77人(述べ 983人) 幼稚園一時預かり事業(幼稚園4園、こども園1園) 利用者 50人(述べ7.82人) 緊急一時預かり事業(幼稚園1園) 利用者 21人(述べ 731人)	保育園一時預かり事業(保育園5園、こども園3園) 利用者 99人(述べ 1,781人) 幼稚園一時預かり事業(幼稚園4園、こども園1園) 利用者 43人(述べ8.470人) 緊急一時預かり事業(幼稚園1園) 利用者 20人(延べ 1,481人)	保育園一時預かり事業(保育園5園、こども園3園) 利用者 100人(述べ 1,570人) 幼稚園一時預かり事業(幼稚園4園、こども園1園) 利用者 313人(述べ 8,577人) 緊急一時預かり事業(幼稚園1園) 利用者 24人(遂べ 1,417人)	保育園一時預かり事業(保育園 4 園、こども園 4 園) 利用者 120人(述べ 1,535人) 幼稚園 - 時預かり事業(幼稚園 3 園、こども園 2 園) 利用者 40人(述べ 6,40年人) 緊急一時預かり事業(保育園 1 園) 利用者 30人(延べ 1,787人)	継続 保育園等に入所できない児童の内、育児休業を延長できな 等の理由の児童については、入所が決まるまでの間、RI新 幼、R2内山保の空き教室を利用した緊急一時預かり事業を 検実施する。また、公立幼稚園4園における長期休園日の- 時預かり事業も継続実施する。 入所待ち児童解消の一助とし、働く保護者の負担軽減を る。	居 継 幼児教育部
社会全体で 子育で家庭 2 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	病児・病後 4 児保育の実 施		実績なし。	実績なし。	実績なし。	実績なし。	実績なし。	検討 保育園在園時の体調不良児については、看護師の確保が きた園は実施しているが、付設設備における事業は各園とも 談・検討する。	で 幼児教育記 相

			I			(人)从于木田口口心 只口的豆头				$\overline{}$
No. 大分類 No	. 中分類	No. 事業名	平成27年度実績	平成28年度実績	第 1 期平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	第 令和2年度実績(見込)	2 期 令和3年度の展望(継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
社会全体で 子育て家庭 1 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	5 障がい児保育の整備	健康増進課、子育て支援課、医療機関(家庭を通して)等と 情報を共有したり、相談したり、保護者との連携を密にしな がら行っている。	健康増進課、子育て支援課、医療機関(家庭を通して)等と 情報を共有したり、相談したり、保護者との連携を密にしな がら行っている。	健康増進課、子育て支援課、医療機関(家庭を通して)等と 情報を共有し、相談するなどし、保護者との連携を密にしな がら行っている。	健康増進課、子育で支援課、医療機関(家庭を通して)等と 情報を共有し、相談するなどし、保護者との連携を密にしな がら行っている。	健康増進課、子育で支援課、医療機関(家庭を通して)等と 情報を共有し、相談するなどし、保護者との連携を密にしな がら行っている。	健康増進課、子育て支援課、医療機関(家庭を通して)等と 情報を共有し、相談するなどし、保護者との連携を密にしな がら行っている。	継続 関係機関と連絡を密にし、支援に努める。	幼児教育課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	5 障がい児保育の整備	ちびっこ相談後、医療機関、養育	子育で支援のあり方についての検討を子どもを取り巻く関係 課で年度内に2回実施予定。	医療機関への紹介 21件 つくしんぼ等療育機関への紹介	医療機関への紹介 14件 つくしんぼ等療育機関への紹介	医療機関への紹介 11件 療育機関への紹介 4件	医療機関への紹介 7件 (12月末時点) 療育機関への紹介 4件 (12月末時点)	継続 継続して相談・支援が受けられるよう、他機関との連携を継 続していく必要がある。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	放課後児童 6 クラブの充 実	小学6年生まで対象を拡大して、年度当初389人の児童で事業 を実施し、長期休暇の利用も待機児童もなく運営を行った。 支援員研修では、6人の支援員を養成した。	年度当初388人の児童で事業を実施。 市内8 箇所で放課後児童クラブを委託により実施した。 放課後児童支援員認定資格研修では、10名の支援員を養成した。	年度当初408人の児童で事業を実施。 市内の箇所で放課後児童クラブを委託により実施した。 放課後児童支援員認定資格研修では、10名の支援員を養成した。	年度当初467人の児童で事業を実施。 市内10箇所で放課後児童クラブを委託により実施した。 放課後児童支援員認定資格研修では、8名の支援員を養成した。	年度当初495人の児童で事業を実施。 市内9クラブ10単位の放課後児童クラブを委託により実施した。 放課後児童支援員認定資格研修では、8名の支援員を養成した。	年度当初518人の児童で事業を実施。 市内9クラブ11単位の放課後児童クラブを委託により実施。 放課後児童支援員認定資格研修では、3名の支援員を養成予定。	継続 保護者が就労等により昼間家庭にない小学校に通う児童に、 放課後の遊びや生活場の提供と健全育成を図るため。	子育て支援 、 センター
社会全体で 子育で家庭 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	公立保育園 の運営方針 のあり方等 の検討		検討中。	検討中。	検討中。	検討中。	検討中。	継続検討。	幼児教育課
社会全体で 子育て家庭 5 を支えるま ちづくり	保育サービ スの充実	認定こども 9 園への移行 の検討	総合教育会議、学校教育施設適正化委員会(4回開催)等に おいて検討。 内山保育園のの~2歳児特化及び新居幼稚園の子ども園化に ついては計画したが保護者の理察が得られず、断念。 保育園の将来的な認定こども園化は、相談にのっているが、 可能性を探っている段階。	県の耐震基準が劣る岡崎幼稚園及び津波避難地域の新居幼科	新居幼稚園及び岡崎幼稚園のこども園化について、湖西市 総合計画実施計画に計上。 載 教育施設地域拠点構想説明会において、中学校区ごとに保 育園・幼稚園のこども園化についての説明を行った。	総合計画実施計画に計上。	新居幼稚園のこども園化に向けて、改修工事を実施。	行。 岡崎幼稚園のこども園化に向けて、耐震改修工事を実施。	継続 施設の老朽化及び量の確保のため、個別の計画立案に努め	め 幼児教育課
社会全体で 子育で家庭 を支えるる。 ちづくり	地域における子育て基盤の整備	地域子育て 1 サークルへ の支援	子育で支援するための交流活動や居場所を提供するグループ に対して、活動経費の一部を補助金として4団体に交付。	子育て支援するための交流活動や居場所を提供するグルース に対して、活動経費の一部を補助金として5団体に交付した。	プ子育て支援するための交流活動や居場所を提供するグルーフ に対して、活動経費の一部を補助金として2団体に交付した。	大実績なし。	廃止	施止	廃止 団体は、市民協働係が実施する補助金 (湖西市文化の香るまちづく)補助金事業)の利用へとシフトしており、今後、子育文支援セクーが実施する補助事業の需要はないと見込まれるため廃止。	ま 子育て支援 子 センター ま
社会全体で 子育で家庭 を支えるま ちづくり	地域におけ る子育て基 盤の整備	ファミ リー・サ 2 ポート・セ ンターの充 実	会員数 462名 延利用者数 1.437名 赤ちゃん訪問やイベント時に情報提供。 会報誌を作成、配架することで、活動のようすなどを周知。	会員数 438名 延利用者数 1,527名	会員数 398名 延利用者数 974名	会員数 384名 延利用者数 1,441名	会員数 374名 延利用者数 988名	上半期 (9月末) 実績 会員数 330名 延利用者数 330名	継続 核家族など子育でに関して親族の手助けが受けられない世帯 が多く、支援が必要なため。	帯 子育て支援
社会全体で 子音で家庭 を支えるま ちづくり	子育でにお ける経済的 負担の軽減	1 業、保育 園・幼稚園	子育で支援手当:支給者数 2,521人 (第2子5,000円/月、第5子10,000円/月支給) 侵育國就園助成金:支給者数 1,852人 幼稚園就園助成金:支給者数 2,264人	子育で支援手当:支給者数 2,262人 (第2子5,000円/月、第3子10,000円/月支給) 保育園駅園助成金:支給者数 1,871人 幼稚園駅園助成金:支給者数 2,134人	子育で支援手当:支給者数 2,087人 (第275,000円/月、第37-10,000円/月支給) 保育回紋園助成金:支給者数 1,902人 幼稚園紋園助成金:支給者数 2,009人	子育で支援手当:支給者数 655人 (第2子5,000円/月、第3子10,000円/月支給) 保育園被園助成金:支給者数 630人 幼稚園被閲助成金:支給者数 645人 ※平成30年3月分までの支給をもって制度終了	廃止	廃止	廃止 子どもを取り巻く環境が激しく変化し、ニーズが多様化する 中、子育で支援策を総合的に推進するべく、既存事業を整理 するため。	
社会全体で 子育て家庭 を支えるり ちづくり	子育てにお ける経済的 負担の軽減	2 費助成の充	乳幼児: 入院 427件、通院 52.661件 年少児: 入院 53件、通院 22.274件 年長児: 入院 87件、通院 31.051件	乳幼児: 入院 448件、通院 51,610件 年少児: 入院 90件、通院 24,371件 年長児: 入院 98件、通院 33,428件	乳幼児:入院 363件、通院 46.032件 児 童:入院 199件、通院 66,402件	乳幼児:入院 394件、通院 45,295件 児 童:入院 181件、通院 67,765件 高校生:入院 12件、通院 4,529件 ※平成30年10月1日診療分から高校生相当年齢まで対象を拡大	乳幼児: 入院 351件、通院 42,082件 児 童: 入院 207件、通院 69,504件 高校生: 入院 47件、通院 15,175件	乳幼児: 入院 248件、通院 30.456件 児 童:入院 164件、通院 69.074件 高校生:入院 40件、通院 13.414件	継続 子育で世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、こどもの男 病の早期発見と適正な治療を受けさせることを促進し、児童 の健全な育成に資するため。平成31年4月1日診療分から所得 制限を撤廃。	疾 子育て支援 童 課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	子育てにお ける経済的 負担の軽減	4 奨励費補助	私立幼稚園 4 園、対象者数38人 補助金額 4,777,200円	市外私立幼稚園 7 園、対象者数39人 補助金額 4,840,200円	市外私立幼稚園10園、対象者15人 補助金額 1,782,700円	市外私立幼稚園9園、対象者14人 補助金額 2,391,100円	市外私立幼稚園 8 園、対象者124人 補助金額 2,032,000円	国の幼児教育・保育の無償化制度により新たな補助制度 (施設等利用等給付費) に移行するため、廃止となる。	廃止	幼児教育課
社会全体で 子育で家庭 を支えるま ちづくり	子育てにお ける経済的 負担の軽減	5 帯の経済的	•	【児童扶養手当】 受給者332人、停止者50人、資格者計38人 人 【村田光雄奨学金】 支給者42世帯、47人	2 【児童扶養手当】 受給者322人、停止者46人、資格者計366人 人 【村田光雄奨学金】 支給者42世帯、47人	8 【児童扶養手当】 受給者313人、停止者44人、資格者計35人 人 【村田光雄奨学金】 支給者61世帯、67人	7 【児童扶養手当】 受給者298人、停止者49人、資格者計347 人 【村田光雄奨学金】 支給者48世帯、57人	【児童扶養手当】 受給者290人、停止者50人、資格者計340人 人 【村田光雄奨学金】 支給者38世帯、40人	【児童扶養手当】継続(法定事務) ひとり観家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため。 【村田光雄奨学金】継続 高校に在学している母子家庭の児童に対する奨学事業を実施 するため。	子育て支援 課 施
社会全体で 子音で家庭 を支えるま ちづくり	子育となる 親となため 親者の 就労環境整 備	就労中の妊	妊婦講座 参加者 237名	妊婦講座 参加者 232名	妊婦講座 参加者 234名	母子手帳交付時に母性健康管理指導事項連絡カードの活用に ついて説明 妊娠の届出数 367件	- 母子手帳交付時に母性健康管理指導事項連絡カードの活用に ついて説明 妊娠の届出数 376件		継続 仕事をしながら妊娠・出産を迎えることに対し、不安を抱え ている妊婦は多い。制度を紹介することで、不安を軽減し、 安心して妊娠、出産を迎えてもらえるよう支援することが重 要であるため。	
社会全体で 子育で家店 を支えるも ちづくり	子親となった で明る ののの のの のの のの のの のの のの のの のの			厚生労働省、県、市が実施する各種両立支援事業について、 企業向けメールマガジンで情報発信。 幸業所を対象に女性活躍アンケートを実施し、育休取得状況 も調査、抽出した企業を訪問し制度をPR。 市ウェブサイトに育児・介護休業法へのリンクを掲載(継 様)。	市役所だよりに厚生労働省の両立支援等助成金、改正育児・ 介護快業法について掲載。 企業向けメルマガジンで厚生労働省の育児ブランナー派遣 制度について情報発信。 市ウェブサイトに育児・介護休業法へのリンクを掲載(継 続)。	市役所だよりに厚生労働省の両立支援等助成金について掲載。 企業向けメールマガジンで静岡県のダイバーシティ経営促進 事業(企業向けセミナー・アドバイザー派遣)、働き方改革 関連法やセミナーについて情報発信。 市ウェブサイトに「次世代育成支援労策権進法に基づく一般 事業主行動計画について」(厚生労働給) へのリンクを掲載	企業向けメールマガジンで静岡県のダイバーシティ経営促進 事業(企業向けセミナー・アドバイザー派遣)、働き方改革 関連法やセミナーについて「精報発信。 市ウェブサイトに「欠世代育成支援対策推進法に基づく一般 事業主行動計画について」(厚生労働省)へのリンクを掲載 (継続)。	事業(企業向けセミナー・アドバイザー派遣)、働き方改革 関連法やセミナーについて情報発信。 市ウェブサイトに「次世代育成支援対策推進法に基づく一般	継続 男性の育児休暇取得率が低く、更なる啓発活動が必要である ため。	産業振興課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	子親と 育とと を のの のの 表 の の の の の の の の の の の の が 環 は の に の は の は の に の は の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	,就業相談事	湖西市地域職業相談室(市民会館)にて、職業相談 [※] と内職相 談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松の事業 【職業相談】求人求職等相談 13,329件、職業紹介 1,895件 【内職相談】求職・求人相談 409件、あっ旋件数 37件	湖西市地域職業相談室(市民会館)にて、職業相談※と内 相談を実施。 ※職業相談はコローワーク浜松の事業 「職業相談」スル末職等相談 11,238件、職業紹介 1,606件 【内職相談】求職・求人相談 378件、あっ旋件数 43件	期 湖西市地域職業相談室 (新居地域センター) にて、職業相談 [®] と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 「職業相談」 水人末職等相談 468件、職業紹介1,297件 【内職相談】 求職・求人相談252件、あっ旋件数46件	。湖西市地域職業相談室(新居地域センター)にて、職業相談 と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 【職業相談】求人求職等相談7.549件、職業紹介1,139件 【内職相談】求職・求人相談151件、あっ旋件数60件 (開催日:火・金一火のみに変更)	湖西市地域職業相談室(新居地域センター)にて、職業相談 ※と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 【職業相談、求人末職等相談、272件、職業紹介1,085件 【内職相談】求職・求人相談175件、あっ旋件数53件	湖西市地域職業相談室(新居地域センター)にて、職業相談 ※と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 【職業相談】末人水職等相談7748件、職業額分1,076件 【内職相談】求職・求入相談212件、あっ旋件数38件	継続 利用件数が多く、市民のニーズが高いため。	産業振興課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	子育で中の 親と時代の 親となる若 者のためる 就労環境整 備	1 1	教育訓練給付金 0人 高等職業訓練促進給付金 1人	教育訓練給付金 0人 高等職業訓練促進給付金 1人	教育訓練給付金 0人 高等職業訓練促進給付金 0人	教育訓練給付金 0人 高等職業訓練促進給付金 0人	教育訓練給付金 1人 高等職業訓練促進給付金 2人	教育訓練給付金 1人 高等職業訓練促進給付金 2人	継続 法令の趣旨に則りひとり親家庭の生活の安定と向上に資する ため。	る 子育て支援 課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	男性の子育の子育の一般のを増える意識を発活動の推進	男女共同参 画の意識の 1 高揚を図る イベントの 開催	・講演会開催 (7月、11月) ・男女共同参画地域セミナー開催 (市内4か所) 「男は仕事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同感 しない人の割合 (市民意識調査) 41.7%	・講演会開催 (6月、12月) ・男女共同参画地域セミナー開催 (市内2か所) ・父親・祖父と子どもを対象とした料理教室開催 ・野月は七事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同思しない人の割合 (市民意議調査) 52.8% ※この年のみ「同感しない」「どちらかというと同感しない」の合計	男女共同参画地域セミナー (10月、11月) 男女共同参画イベント開催 (11月) 子育で中の母親を対象としたのが3つ3で の開催 (1月) 父親・祖父と子どもを対象とした料理教室開催 (3月) 「男は仕事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同恵 しない人の割合(市民意識調査) 42.8%	男女共同参画地域セミナー (6月) 男女共同参画イベント開催 (8月) 「男は仕事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同思 しない人の割合(市民意識調査)48.6% 育児休業を取得しやすいと答えた割合(市民意識調査)29.6%	* しない人の割合(市民意識調査)53.2%	男女共同参画地域セミナー (中止) 男女共同参画イベント開催 (実施未定) 「男は仕事、女は家庭」との男女の固定的な役割分担に同感 しない人の割合 (市民意識調査) 46.7% 家庭生活について男女の地位が平等だと答えた人の割合 (市 民意識調査) 28.5%	継続 今後も男女共同参画についてより理解しやすい内容の講演金 やイベントを開催する。	会 市民課
社会全体で 子育て家庭 を支えるま ちづくり	親子と高齢 者の交流の 推進	1 世1 切削文 ///	園への招待や施設へ出向き祖父母や地域の老人、老人クラブ 等との交流を実施。 保育園・こども園8園:86回 幼稚園6園:24回	園への招待や施設へ出向き祖父母や地域の老人、老人クラブ 等との交流を実施。 保育園・こども園8園:102回 幼稚園6園:31回	国への招待や施設へ出向き、祖父母や地域の老人、老人ク ラブ等との交流を実施。 保育国7園・こども園1園:96回 幼稚園6園:31回	園への招待や施設へ出向き、祖父母や地域の老人、老人ク ラブ等との交流を実施。 保育園 5 園・こども園 3 園:119回 幼稚園 6 園:32回	園への招待や施設へ出向き、祖父母や地域の老人、老人ク ラブ等との交流を実施。 保育園6園・こども園3園:112回 幼稚園6園:29回	国への招待や施設へ出向き、祖父母や地域の老人、老人クラブ等との交流を実施。 保育園 6 園・こども園 5 園:50回 幼稚園 5 園:10回	継続 地域の人材、高齢者との交流により、豊かな人間性の構築 に役立てる。	: 幼児教育課

		-				(人版事本的自任心项目的重要				
No. 大分類 No	. 中分類	No. 事業名	平成27年度実績	平成28年度実績	第 1 期 平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	第 令和2年度実績(見込)	2 期 令和3年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
社会全体で 子育で家庭 を支えるま ちづくり	親子と高齢 者の交流の 推進	事業の充実	・世代間交流室での催し物 (22回開催) 高齢者延べ148名、園 児延べ284名参加 ・いさいきサロン (2回開催) 高齢者延べ40名、園児延べ42名 参加	・世代間交流室での催し物(12回開催)高齢者延べ66名、園 児延べ217名参加 ・いきいきサロン(2回開催)高齢者延べ44名、園児延べ38名 参加	延べ159名参加	延べ110名参加	いきいきサロン(2回開催)高齢者延べ64人、園児延べ30人 参加	いきいきサロン(2回開催)高齢者延べ50人、園児延べ30人	継続 湖西市世代間交流室において、地域の高齢者との交流を促進 していく。	長寿介護課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子育て家庭 の健康に関 する相談・ 指導の推進	1 お母さん教室の充実	お母さん教室 参加者86人	お母さん教室 参加者61人	お母さん教室 参加者53人	お母さん教室 実施回数6回 参加者42人	廃止	廃止	原止 就労している妊婦が増え、教室への参加者数が減っているた め、事業を廃止。 妊婦への健康相談については、個別対応とする。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子育て家庭 の健康に関 する相談・ 指導の推進	母子健康手 帳の交付と 妊婦講座の 充実	妊婦講座 参加者237名	妊婦講座 参加者 232名	妊婦講座 参加者 234名	母子手帳は窓口での随時交付、個別指導に変更。赤ちゃんを 迎える心構えや妊娠中の生活について個別に対応し、セルフ ブランの作成支援を実施。 妊娠の届出数 367件	母子手帳は窓口での随時交付、個別指導に変更。赤ちゃんを 迎える心構えや妊娠中の生活について個別に対応し、セルフ ブランの作成支援を実施。 妊娠の届出数 376件	母子手帳は窓口での随時交付、個別指導に変更。赤ちゃんを 迎える心構えや妊娠中の生活について個別に対応し、セルフ ブランの作成支援を実施。 妊娠の届出数 258件 (12月末時点)	継続 妊娠中の生活で気をつけてもらいたいことを妊娠初期に伝え ることで、妊娠糖尿病、妊娠高血症検討等の予防する必要が ある。 また、産後のリスクを事前に把握し、安心して子育てできる 支援体制をつくっていく。	→ (H31) 子育て支援
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子育て家庭 の健康に関 する相談・ 指導の推進	3 離乳食教室 の充実	離乳食教室 237人	離乳食教室 190人	離乳食教室 参加者155人	離乳食教室 実施回数12回 参加者148人	離乳食教室 実施回数12回 参加者130人	離乳食教室 実施回数9回 参加者91人(12月末時点)	継続 離乳食の正しい知識の普及と仲間づくりの場となっているだめ。	健康増進課 ↓ (H31) た 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子育て家庭 の健康に関 する相談・ 指導の推進	すくすく育 4 児教室の充 実	すくすく育児教室 12回/年開催 257人	すくすく育児教室 240人	すくすく育児教室 参加者 204名	すくすく育児教室 実施回数12回 参加者179名	すくすく育児教室 実施回数12回 参加者134名	7~8か月児教室(教室名変更) 実施回数7回 参加者65人(12月末時点)	継続 乳児の成長・発達に関する知っておいてほしい情報を伝え、 個別相談とすることで子育ての不安や悩みを解消できる場と しているため。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親の健康を守るまちづくり	子育て家庭 の健康に関 する相談・ 指導の推進	子育て中の 6 母親の育児 教室の開催	はじめてのママ教室 1クール(4回)開催 参加人数 実人数16人、延べ人数61人	はじめてのママ教室 3クール開催。(1クール4回) 参加人数 実人数52人 、延べ人数 192人	はじめてのママ教室 4クール開催。(1クール4回) 参加人数 実人数64人 、延べ人数 226人	はじめてのママ教室 4クール開催 (1ケール4回) 参加人数 実人数76人 、延べ人数 274人	はじめてのママ教室 2回コース×年3回 参加人数 実人員45人 延人員88人	はじめてのママ教室 2回コース×3回 (12月末時点) 参加延人員71人	継続 年間4回 (1クール2回) 実施。 第1子の母親同士が、育児不安等を話し合える仲間作りの場 になっている。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子育て家庭 の健康に関 する相談・ 指導の推進	7 乳幼児訪問 事業の充実	赤ちゃん訪問 482件	赤ちゃん訪問 412件	赤ちゃん訪問 381件	赤ちゃん訪問 373件	赤ちゃん訪問 344件	赤ちゃん訪問 271件(12月末時点)	継続 赤ちゃん訪問の前に地区担当保健師から母親に対し電話かけ をし、地区担当保健師である紹介と訪問までの間の相談を引 け不安の解消につなげていく。	
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	母子保健 サービスの 充実	かる事業の	受診者数 - 4 ヶ月児健診 471人 (受診率 96.3%) - 10ヶ月児健診 475人 (受診率 90.9%) - 1歳6 ヶ月児健診 491人 (受診率 98.2%) - 2歳親子堂 478人 (受診率 98.2%) - 3歳児健診 514人 (受診率 98.7%)	受診者数 - 4 ヶ月児健診 435人 (受診率 94.4%) - 10ヶ月児健診 434人 (受診率 91.2%) - 1歳6 ヶ月児健診 466人 (受診率 98.1%) - 2歳親子教室 402人 (受診率 98.1%) - 3歳児健診 495人 (受診率 100.0%)	受診者数 - 4ヶ月児健診 386人 (受診率 99.2%) - 10ヶ月児健診 412人 (受診率 97.6%) - 1歳6ヶ月児健診 443人 (受診率 99.1%) - 2歳親子教室 42人 (受診率 94.4%) - 3歳児健診 460人 (受診率 100.0%)	受診者数 - 4ヶ月児健診 369人 (受診率 98.1%) - 10ヶ月児健診 369人 (受診率 96.6%) - 1歳6ヶ月児健診 392人 (受診率 98.0%) - 2歳親子参室 412人 (受診率 98.4%) - 3歳児健診 440人 (受診率 98.2%)	受診者数 - 4 ヶ月児健診 - 10ヶ月児健診 - 1歳6 ヶ月児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診	受診者数(12月末時点) - 4ヶ月児健診 - 10ヶ月児健診 - 10ヶ月児健診 - 1歳6ヶ月児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診 - 3歳児健診	継続 発達の節目の健診を実施し、子どもの健やかな成長を促す。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	母子保健 サービスの 充実	2 予防接種事 業の充実	B型肝炎、Hib感染症等 A 類疾病の予防接種の実施	B型肝炎、Hib感染症等 A 類疾病の予防接種の実施	B型肝炎、Hib感染症等 A 頸疾病の予防接種の実施	B型肝炎、Hib感染症等 A 類疾病の予防接種の実施	B型肝炎、Hib感染症等 A 類疾病の予防接種の実施	B型肝炎、Hib感染症等 A 類疾病の予防接種の実施	継続 法的に義務付けられており、実施しなければならない。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	母子保健 サービスの 充実		フッ化物塗布 1歳6ヶ月児健診 482人 2歳児親子教室 497人 3馬児健診 475人 フッ化物法口 実施者 981人 (実施率 99.3%) 学校歯科指導 ・幼稚園、保育園 年2回 実施人数 1.877人 ・小学校 年2回 349人 2歳親子教室 歯周病健診 443人	フッ化物塗布 1歳6ヶ月児健診 457人 2歳児親子教室 389人 3歳児健診 466人 フッ化物洗印 実施者 924人 学校歯科指導 個 24回 実施人数 1,759人 ・ 小稗版 年 2回 319人 2歳親子教室 歯周病健診 394人	フッ化物塗布 1歳6ヶ月児健診 432人 2歳児娘子教室 414人 3歳児健診 443人 フッ化物洗口 実施者 901人 (実施率 97.9%) 学校歯科指導 97.9% ・ 幼稚園、保育園 各園年2回 実施人数 1.718人 ・小学校 6学校年2回 177人 2歳親子教室 歯周病健診 261人	フッ化物塗布 1歳6ヶ月児健診 379人 2歳児親子教室 401人 3歳児健診 414人 フッ化物洗口 実施者 892人 学校歯科指導 802人 学校歯科指導 医、ごも園 実施人数1,732人 ・小学校 234人 2歳親子教室 歯周病健診 405人	フッ化物塗布 1 歳6 ヶ月児健診 339人 2 歳児規子教室 301人 3 歳児健診 385人 フッ化物洗口 実施者 865人 学校歯科指導	フッ化物塗布 (12月末時点) 1歳6ヶ月児健診 228人 2歳児教室 (教室名変更) 169人 3歳児健診 225人 フッ化物洗口 実施者 360人 (12月末時点) 学校歯科指導 中止 2歳親子教室での歯周病健診 中止	継続 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、実施の可否について判断しながら実施。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	母子医療体 制の充実	夜間・休日 における小 児医療機関 の情報提供 の充実	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、 長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供して もらい市民からの問い合わせ対応できるようにしている。	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、 長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供して もらい市民からの問い合わせ対応できるようにしている。	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、 長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供して もらい市民からの問い合わせ対応できるようにしている。	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、 長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供して もらい市民からの問い合わせ対応できるようにしている。	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、 長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供して もらい市民からの問い合わせ対応できるようにしている。	継続	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	母子医療体 制の充実	3 る支援の充	特定不妊治療費助成件数 実51組(延べ52組) 一般不妊治療費助成件数 実13組(延べ13組) 男性不妊治療費助成件数 0組	特定不妊治療費助成件数 実28組(延べ28組) 一般不妊治療費助成件数 実 8組(延べ28組) 男性不妊治療費助成件数 0組	特定不好治療費助成件数 実44組(延<45組) 一般不好治療費助成件数 実 7組(延< 7組) 男性不妊治療費助成件数 実 2組(延< 2組)	特定不妊治療費助成件数 実30組(延べ33組) 一般不妊治療費助成件数 実14組(延べ15組)	特定不妊治療費助成件数 実30組 (延べ30組) 一般不妊治療費助成件数 実9組 (延べ9組)	特定不妊治療費助成 実17組(延べ18組) 一般不妊治療費助成 実6組(延べ6組) (12月末時点)	継続 少子化対策の一環として行われている事業であり、不妊で作む夫婦の経済的な支援として必要な助成事業であるため。	健康増進課 ↓ (H31) 浴 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子どもと親 の健康への 支援体制の 整備	育児家庭訪 1 問事業の推 進	乳幼児訪問 713件	乳幼児訪問 558件	乳幼児訪問 734件	乳幼児訪問 593件	乳幼児訪問 441件	乳幼児訪問 455件(12月末時点)	継続 母親に育児不安がある。子どもに発達障害が疑われる、虐待 か心配されるなど、課題を抱えた家庭への支援は虐待予防の 視点からも重要である。子育て支援課と連携して支援してい く。	1 (H31)
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子どもと親 の健康への 支援体制の 整備	1 問事業の推	員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対	子育で支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育で支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育で支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育で支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。		凝続 子育で家庭へのきめ細かな支援に努める。	子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子どもと親 の健康への 支援体制の 整備	障がいがあ る子どもへ の支援の充 実	医療機関への紹介件数 25件	医療機関への紹介件数 25件	医療機関への紹介件数 21件	医療機関への紹介件数 14件	医療機関への紹介件数 11件	医療機関への紹介 7件 (12月末時点)	総統 障がいのある子ども、または障がいが疑われる子どもが、そ の子に合った支援が受けられるよう、個別指導や関係機関と の連携が重要であるため。	健康増進課 ↓ (H31) 子育て支援 課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子どもと親 の健康への 支援体制の 整備	3 る子どもへ の支援の充	特別支援教育支援員を幼稚園や小中学校へ配置し、通常学級に在籍している際がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。 平成27年度は36名配置している。		に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたってい	特別支援教育支援員を幼稚園や小中学校へ配置し、通常学級 に在籍している障がいをもつ子ともたちの支援にあたってい る。平成29年度は、幼稚園に10名、小中学校に30名、計40名 を配置している。個別の支援を充実させるために、幼稚園、 小中学校の要請により専門家を派遣し、巡回相談を実施して いる。	特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している論がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。令和 万年度は、小中学校に迎るを配置している。個別の支援を充 実させるために、小中学校の要請により専門家を派遣し、巡 回相談を実施している。	ている障がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。令和 2年度は、小中学校に30名を配置している。個別の支援を充	継続 支援・配慮を必要とする児童生徒が増加しているため、同規 模の支援員数を保持して、継続していく。また、巡回相談の 活用についても、積極的に呼びかけていきたい。	学校教育課
子どもと親 の健康を守 るまちづく り	子どもと親 の健康への 支援体制の 整備	障がいがあ	健康増進課や子育で支援課と連携し、障がいのある子どもの 情報交換や相談を実施。 保育園・ごもの園:情報交換や相談 30人59回 療育機関への接続 15人 幼稚園6園:情報交換や相談 29人44回 療育機関への接続 15人	健康増進課や子育て支援課と連携し、障がいのある子どもの 情報交換や相談を実施。 保育園・ごも園8園・情報交換や相談 28人、52回 疾育機関への接続 25人 幼稚園6園:情報安換や相談 39人、67回 療育機関への接続 19人	健康増進課や子育て支援課と連携し、障がいのある子ども の情報交換や相談を実施。 保育園7回・こども圓1園 情報交換・相談48人、46回、療育機関への接続35人 幼稚園6園 情報交換・相談45人、43回、療育機関への接続20人	健康増進課や子育て支援課と連携し、障がいのある子ども の情報交換や相談を実施。 保育園5回。こども園3回 情報交換・相談20人、23回、療育機関への接続30人 幼稚園6回 情報交換・相談29人、31回、療育機関への接続18人	健康増進課や子育て支援課と連携し、障がいのある子ども の情報交換や相談を実施。 保育園6園 - こども園 園 情報交換・相談20人、23回、療育機関への接続19人 幼稚園6園 情報交換・相談29人、31回、療育機関への接続17人	健康増進課や子育て支援課と連携し、障がいのある子ども の情報交換や相談を実施。 保育園6園 - こども園6園 情報交換・相談20人、23回、療育機関への接続20人 幼稚園5園 情報交換・相談29人、31回、療育機関への接続15人	継続 情報を共有し、子どもや保護者への支援を共通にする。	幼児教育課

						第 1 期			第	2 期	
No. 大分類	No.	中分類 N	Vo. 事業名	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績(見込)	令和3年度の展望(継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
子どもと の健康を るまちづ り	守しの	どもと親 の健康への を援体制の を備	発達に遅れ がみられる 子どもへの 相談・支援 事業等の充 実	・ことばの相談 10回、25件(延べ) ・ちびっこ相談 24回、86件(延べ) ・ちびっこ教室 12回、実人数29人、延べ人数95人	・ことばの相談 10回、19人 ・ちびっこ相談 24回、85人 ・ちびっこ教室 12回、実人数29人、延べ人数82人	・ことばの相談 6回、14人 ・ちびっこ相談 24回、93人 ・ちびっこ教室 12回、美人数 24人、延べ人数 91人	・ことばの相談 6回、6人 ・ちびっこ相談 21回、53人	ことばの相談は終了(育児相談の中で対応) ちびっこ相談 21回 50人	ちびっこ相談 12回 26人 (12月末時点)	継続 免達面全般に対しての相談を、心理士が行うことで、子ども に合わせた関わり方の助言や、必要に応じ受診や療育へつな げるなどの支援が行えているため。 ことばの相談は相談件数が少ないため、育児相談で対応して いく。	・健康増進課 : ↓ (H31) 子育て支援 : 課
子どもと の健康を るまちづ り	守 4 の	どもと親)健康への 接接体制の を備		- 通訳同行訪問 26回 - 通訳形記置 1 歳6ヶ月児健診 12回 3 歳児健診 12回 2 歳親子教室 9回 相談 2回	・通訳同行訪問 22回 ・通訳配言 1歳6ヶ月児健診 12回 3歳児健診 12回 2歳親子教室 8回 相談 3回	- 通駅同行訪問 14回 - 通駅配置 1歳6ヶ月児健診 12回 3歳児健診 12回 2歳親子教室 5回 相談 2回	- 通訳同行訪問 17回 - 通訳配置 1歳6ヶ月児健診 12回 3歳児健診 12回 2歳親子教室 7回 相談 1回	計問 15回 相談 1回 通訳配置 歳6か月児健診 12回 2歳児教室 7回 3歳児健診 12回 1歳のお誕生日教室 1回	訪問 14回 1歳6か月児健診 9回 2歳児教室 3回 3歳児健診 9回 (12月末時点)	継続 外国人母子の健康の保持、増進のため必要な指導、支援を行うために、通訳の配置が必要。	健康増進課 行 → (H31) 子育て支援 課
子どもと の健康を るまちづ り	守しの	どもと親)健康への 接接体制の を備	6 <早朔完兄	員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対	子育で支援課担当、健康撤進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育て支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育て支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育で支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	子育て支援課担当、健康増進課保健師、家庭児童相談室相談 員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対 策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	経続 相談体制の強化、支援を行う。	子育て支援 課
子どもと の健康を るまちづ り	守しょの	どもと親 健康への 接接体制の を構	虐待の予防 と早期発見 への取組の 強化	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 229人	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 308人	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 381人	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 373人	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 297人	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 252人 (12月末時点)	継続 赤ちゃん訪問時母の気持ちを知るためのアンケート(産後うつ 自己チェック表) を実施し早期に悩みに対応していく。	健康増進課 → (H31) 子育て支援 課
子どもと の健康を るまちづ り	守しの	どもと親の健康への 接接体制の を備	6 全年朔光兄	OVICついてはその疑いがあるものを含め、4~5件があげられている。西部児童相談所や家庭児童相談室等と連携をとり、個別に対応している。	DVについてはその疑いがあるものを含め、数件あがっている。 西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室等と連携をとり、個別に対応している。	DVICついてはその疑いがあるものを含め、数件あがっており、学齢児をも家庭においても年々増加の傾向にある。西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室、市民課等とも連携をとり、個別に対応している。	DVIこついてはその疑いがあるものを含め、数件あがっており、学齢児をも家庭においても年々増加の傾向にある。西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室、市民課等とも連携をとり、個別に対応している。	DVICついてはその疑いがあるものを含め、数件あがっており、学齢児をもつ家庭においても年々増加の傾向にある。西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室、市民課等とも連携をとり、個別に対応している。	DVICついてはその疑いがあるものを含め、数件あがっており、学齢児をもつ家庭においても年々増加の傾向にある。西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室、市民課等とも連携をとり、個別に対応している。	継続 市内でも年々DVの被害は増えているため、連携を密にして いきたい。	学校教育課
子どもと の健康を るまちづ り	守しょの	どもと親)健康への 接接体制の を備	虐待の予防 と早期発見 への取組の 強化	子育て支援課と連携し、各園との情報交換及び提供を行い、 対応を相談している。	子育て支援課と連携し、各園との情報交換及び提供を行い、 対応を相談している。	子育で支援課と連携し、各園との情報交換及び相互に情報提供を行い、対応を相談している。	子育て支援課と連携し、各園との情報交換及び相互に情報提供を行い、対応を相談している。	子育て支援課と連携し、各圏との情報交換及び相互に情報提供を行い、対応を相談している。	子育て支援課と連携し、各圏との情報交換及び相互に情報提供を行い、対応を相談している。	経続 虚待の予防と早期発見、適切な見守りや支援を行う。	幼児教育課
子どもと の健康を るまちづ	守しゅの	でもと親の健康への を援体制の を備	児童発達支 7 援事業の充 実	くしんは教羊を夫施。毎月阿迦霊唯口に汎風先を対象とその 保護者を対象としたかるがも教室を実施。 小曜日・12月 本13月 本道園来 277月	つくしんぼ教室(未就学児とその保護者対象) 火曜日:入園者 13組 延通園者 240組 木曜日:入園者 8組、延通園者 202組 かるがも教室(就学時とその保護者対象) 金曜日:入園者 11組、延通園者 149組	つくしんぼ教室(未就学児とその保護者対象) 火曜日:入園者 12組、延通園者 259組 木曜日:入園者 11組、延通園者 244組 かるがも教室(就学時とその保護者対象) 金曜日:入園者 12組、延通園者 163組	つくしんぼ教室(未就学児とその保護者対象) 火曜日:入園者 11組。延通園者 258組 木曜日:入園者 9組、延通園者 156組 かるがも教室(就学時とその保護者対象) 金曜日:入園者 9組、延通園者 157組 1歳6の月検診のフォロー児を対象としたパンビ教室を試行的 に開催(月1回7月より7組にてスタート) 金曜日:入園者 16組、延通園者 43組	廃止	廃止	廃止 お3から発達支援教室(新規事業)として子育て支援課へ移 管。 発達面、療育面において支援が必要な幼児と保護者につい て、継続した支援と幼稚園と連携した支援ができる場が必 要。	子育て支援 センター → (H31) 子育て支援 課
子どもと の健康を るまちづ り	守しの	どもと親)健康への 接体制の を備	児童発達支 7 援事業の充 実	・ちびっこ教室 12回、実人数29人、延べ人数95人	・ちびっこ教室 12回、実人数29人、延べ人数82人	・ちびっこ教室 12回、実人数24人、延べ人数91人	ちびっこ教室廃止 子育て支援センター バンビ教室へ	発達支援教室の実施 20回/年×2グループ 参加親子 23組 延べ644人	発達支援教室の実施 26回 (12月末時点) 参加親子 21組 延べ254人	経続 就園前の児を対象に教室を実施し、児の発達を促す。	健康増進課
子どもと の健康を るまちづ り	守し、心	か身の健康 がくりの推		歯の健康まつり 来場者数 694人 健康まつり 来場者数 1,277人	歯の健康まつり 来場者数 648人 健康まつり 来場者数 1,345人	歯の健康まつり 来場者数 707人 健康まつり 来場者数 1,327人	歯の健康まつり 来場者数 568人 健康まつり 中止	歯とからだの健康まつり 626人	歯とからだの健康まつり 中止	廃止 人が集まって「密」を作るイベントは感染予防の点から考う て継続は困難。新しい様式で「歯の健康に関する啓発」を辿 めていく	え 健康増進課 進
子どもと の健康を るまちづ り	守し、心	o身の健康 がくりの推 2 L		親子の料理教室 10回 366人 (湖西市健康づくり食生活推進協議会)	親子の料理教室 10回 357人 (湖西市健康づくり食生活推進協議会)	親子の料理教室 8回 363人 (湖西市健康づくり食生活推進協議会)	親子の料理教室 10回 325人 (湖西市健康づくり食生活推進協議会)	親子の料理教室 10回 348人 ((湖西市健康づくり食生活推進協議会)	「親子の料理教室」は新型コロナ感染症予防のため中止した が、市内の学童保育利用者に児童にふさわしいおやつを配布 し、食に関する知識の啓発を行う「学童保育食育教室」は実 施した。227人 (湖西市健康づくり食生活推進協議会)	継続(親子の料理教室) 各地区 1 回実施	健康増進課
子どもと の健康を るまちづ り	守し、心	o身の健康 がくりの推 :	3 の保御芸生	市内2校の高校3年生に「こころの健康について」の講話を 実施。 2校各1回 計397人	市内2校の高校3年生に「こころの健康について」の講話を 実施。 2校各1回 計415人	- 心の健康についての講話(湖西高校) 186名 - 心の健康についてのパンフレットを配布し啓発(新居高 校) 220名	・心の健康についての講話(湖西高校) 175名 ・心の健康についての講話(新居高校) 200名 ・自教対策強化月間として9月に市内5店舗で街頭キャン ペーンを実施。市内5店舗 計500個 (こころの健康づくり啓発グッズとチラシ配布)	・心の健康についての講話(湖西高校) 190名 ・心の健康についての講話(新居高校) 220名 ・自教対策強化月間として9月に市内5店舗で街頭キャン ペーンを実施。市内5店舗 計550個 (こころの健康づくり容免グッズとチラシ配布)	・心の健康についての講話(湖西高校) 188名 ・心の健康についての講話(新居高校) 198名 (見込み) 両校にこころの健康づくり啓発グッズとチラン配布	継続 市内2校の高校3年生に「こころの健康について」の講話を 実施予定	健康増進課
子どもと の健康を るまちづ り	守し、心	か身の健康 がくりの推 (学校等にお ける思春期 の保健対策 の充実	中学校段階において、思春期の性について助産婦や保健師を まねき、学校行事として取り組んでいる学校がある。	中学校段階において、思春期の性について助産婦や保健師を まねき、学校行事として取り組んでいる学校がある。	中学校段階において、思春期の性について助産婦や保健師を まねき、学校行事として取り組んでいる学校がある。	中学校段階において、思春期の性について助産婦や保健師を まねき、学校行事として取り組んでいる学校がある。	中学校段階において、思春期の性について助産婦や保健師を まねき、授業で取り組んでいる学校がある。	中学校段階において、思春期の性について助産婦や保健師を まねき、授業で取り組んでいる学校がある。	学校間で差があるが、学校の実態や保健教育の方針を踏まえた上で実施を拡大できるよう呼びかけていきたい。	学校教育課
子どもが やかに学 育つため まちづく	ぴ 1 就の	(学前教育)充実	1 親子運動遊 びの充実	・体育指導員による幼稚園親子運動遊び 各年齢年間2回(内、親子1回)幼稚園5園 ・外部講師によるリトミック各年齢1回幼稚園1園	・休育指導員による幼稚園親子運動遊び 各年齢年間2回(内、親子1回)幼稚園5園 ・外部講師によるリトミック各年齢1回幼稚園1園	体育指導員による幼稚園親子運動遊び 公立幼稚園5園、各年齢年2回(内、親子1回) 外部講師によるリトミック 公立幼稚園1園、各年齢年1回	体育指導員による幼稚園親子運動遊び 公立幼稚園5園、各年齢年2回(内、親子1回) 外部講師によるリトミック 公立幼稚園1園、各年齢年1回	体育指導員による幼稚園根子運動遊び 公立幼稚園5園、各年齢年2回(内、親子1回) 外部講師によるリトミック 公立幼稚園1園、各年齢年1回	体育指導員による幼稚園駅子運動遊び 公立幼稚園 5 園、各年齢年2回(内、小規模園は親子1回) 外部講師によるリトミック 公立こども園1園、各年齢年1回 ※大規模園は新型コロナウィルス感染拡大防止のため園児の みで実施	継続 家庭での遊びを広げ、幼児と親の関わりを深める。	幼児教育課
子どもが やかに学 育つため まちづく	ぴ 1 就の	就学前教育 分充実	ブックス 2 タート事業 の充実	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護 者を対象にブックスタートを行っている。	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護 者を対象にブックスタートを行っている。	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護 者を対象にブックスタートを行っている。	中央・新層図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタートを行っている。	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタートを行っている。	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタートを行っている。	維統	図書館
子どもが やかに学 育つため まちづく	ぴ 1 就の	(学前教育 /	3 親子読書の 推進	絵本貸し出し数(家庭での親子誘書数) 公立幼稚園:15,520冊(在園児807人) 公立保育園:8,385冊(3歳以上児209人)	総本貸し出し数 (家庭での親子誘書数) 公立幼稚園: 9,799冊 (在園児749人) 公立保育園: 6,862冊 (3歳以上児218人)	総本貸し出し数(家庭での親子終書数) 公立幼稚園 6 園 : 9,704冊 (在園児677人) 公立保育園 3 園 : 7,297冊 (3歳以上児232人)	総本貸し出し数(家庭での親子誘書教) 公立幼稚園6園: 12,151冊(在園児631人) 公立保育園3園: 10,429冊(3歳以上児240人)	総本貸し出し数(家庭での親子誘書数) 公立幼稚園6園: 12,019冊(在園児590人) 公立保育園3園: 9,697冊(3歳以上児225人)	絵本賞し出し数 (家庭での親子読書数) 公立幼稚園5園: 8,000冊 化佐園児412人) 公立保育園・こども園4園: 9,510冊 (3歳以上児317人) ※新型コロナウィルス感染症拡大予防のため、4月から10月は 資出中止	継続 人間形成の基礎となる豊かな心情や想像力を培う。	幼児教育課
子どもが やかに学 育つため まちづく	ぴ 1 就の	《学前教育 》充実		幼稚園:A L T 派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園6園 4,5歳児対象 年5回 保育園: サークルによる「英語で遊ぼう」 公立保育園3園 5歳児対象 年6回	幼稚園:ALT派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園ら園 4・5歳児対象 年5回 保育園:サークルによる「英語で遊ぼう」 公立保育園3園 5歳児対象 年6回	ALT派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園6園、4・5歳児対象、年5回 サークルによる「英語で遊ぼう」 公立保育園3園、5歳児対象、年6回	A L T派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園6園、4・5歳児対象、年5回 サークルによる「英語で遊ぼう」 公立保育園3園、5歳児対象、年6回	A L T派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園6園、4・5歳児対象、平均年4.5回 サークルによる「英語で遊ぼう」 公立保育園3園、5歳児対象、年6回	ALT派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園 5園、ことも園 1園、4・5歳児対象、平均 年3.6回 サークルによる「英語で遊ぼう」 公立保育園 3園、5歳児対象、年3回 ※新型コロナウィルス感染症拡大防止のための休園により回 数減少	継続 英語や外国の異文化に触れ、慣れ親しむ。	幼児教育課
子どもが やかに学 育つため まちづく	び 2 学	どもの生 る力を育 るための を校教育環 をの整備		総合的な学習の時間を使って地域の方を招き、校内にビオ トープをつくり環境学習に取り組んでいる学校もある。	総合的な学習の時間を使って地域の方を招き、校内にビオ トープをつくり環境学習に取り組んでいる学校もある。	「総合的な学習の時間」を活用し、ピオトーブをつくった り、市内の民間企業を見学をしたりして、環境について学習 している。学校によっては、環境課と連携を図り、ソーラー についても学習している。	「総合的な学習の時間」を活用し、ピオトーブをつくった り、市内の民間企業を見学をしたりして、環境について学習 している。学校によっては、環境課と連携を回り、ソーラー についても学習している。	「総合的な学習の時間」を活用し、ビオトーブをつくったり、市内の民間企業を見学をしたりして、環境について学習している。学校によっては、環境課と連携を図り、ソーラーについても学習している。	「総合的な学習の時間」を活用し、ピオトーブをつくったり、市内の民間企業を見学をしたりして、環境について学習している。学校によっては、環境課と連携を回り、ソーラーについても学習している。	継続 子どもたちが自分たちの生活をとりまく環境をよりよくしょ うとする意識を高められるよう令和3年度も継続していく。	よ 学校教育課

Mo ±/\/=	H 八 NET	No produce	第 1 期					第 2 期		
No. 大分類 No	. 中分類	No. 事業名	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績(見込)	令和3年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子どもの生 きる力を育 てるための 学校教育環 境の整備	思い出に残 る1学校1行 事創造事業 の推進	市内どの中学校においても浜名湖や適州灘など心身の育成を 図るために長距離ウォークを行っている。	市内どの中学校においても浜名湖や遠州灘など心身の育成を 図るために長距離ウォークを行っている。	市内中学校において、浜名湖や遠州灘など心身の育成を図る ために長距離ウォーク等を実施している。	市内中学校において、浜名湖や遠州灘など心身の育成を図る ために長距離ウォーク等を実施している。	市内中学校において、浜名湖や遠州灘などを歩き、心身の育成を図る長距離ウォーク等を実施している。	新型コロナウイルス感染症予防のため、実施無し。	継続 困難体験等を通して子どもたちの心身の健康を育むこと、 い出づくりをねらいとして、令和3年度も継続していく。	思 学校教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子さるるた数音ので学りである。	小・中学校 3 の通信環境 の整備		校内LAN:全校整備済 無線LAN:小学校4校、中学校3校 普通教室・一部特別教室整備済	校内LAN:全校整備済 無線LAN:小学校5校、中学校4校 普通教室・一部特別教室整備済 小学校1校、中学校1校が平成30年度整備予定 (白須賀小、中)	校内LAN:全校整備済 無線LAN:小学校6校、中学校5校 普通教室・一部特別教室整備完了	校内LAN:全校整備済 無線LAN:小学校6校、中学校5校 普通教室・一部特別教室整備完了	文部科学名の掲げる「GIGAスクール構想」の実現に基づ 支・児童生徒1人1台端末の環境に耐えられる校内通信ネットワークの整備を実施。 〇校内LAN:全校整備 しANケーブルを1Gから10Gに更新 〇無線LAN:全校整備 ・ 監津小中学校、新居小中学校、知波田小学校は無線アクセ スポイントとフロアスイッチの機種が古いため更新。	廃止 令和2年度内に文部科学省の掲げる「GIGAスクール) 樹」の実現に基づき、児童生徒1人1台端末の環境に耐え れる校内通信ネットワークの整備が完了するため。	構 教育総務課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子どもの生 きる力を育 てるための 学校教育環 境の整備	生きた英語 4 教育推進事 業の充実	市内小・中学校に外国人英語指導助手(ALT)を派遣し、児童 生徒等の英語コミュニケーション能力の育成を行った。 平成27年度は4名のALTと委託契約した。	市内小・中学校に外国人英語指導助手(ALT)を派遣し、児童 生徒等の英語コミュニケーション能力の育成を行った。 平成28年度は4名のALTと委託契約した。	市内小・中学校に外国人英語指導助手(ALT)を派遣し、児童 生徒等の英語コミュニケーション能力の育成、異文化理解の 促進を行った。 平成29年度は4名のALTと委託契約した。	市内小・中学校に外国人英語指導助手(ALT)を派遣し、児童 生徒等の英語コミュニケーション能力の育成、異文化理解の 促進を行った。 平成30年度は4名のALTと委託契約した。	市内小・中学校に外国人英語指導助手 (ALT) を派遣し、児童 生徒等の英語コミュニケーション能力の育成、異文化理解の 促進を行った。 令和元年度は4名のALTと委託契約した。	市内小・中学校に外国人英語指導助手 (ALT) を派遣し、児童 生徒等の英語コミュニケーション能力の育成、異文化理解の 促進を行った。 令和2年度は4名のALTと委託契約した。	継続 令和2年度から小学校英語教科化、3・4年生の外国語活 の全面実施となり、コミュニケーション能力の育成はより 廃重視されている。令和3年度も同数のALTを配置し、継り していく。	動一学校教育課続
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子どもの生 きる力を育 てるための 学校教育環 境の整備	T ~ 100 7 7 1	面談などの通訳を行っている。(平成27年度は外国人児童生	外国人児童生徒適応指導員を配置し、日本での生活や学校生 活、ルールなどを理解するための支援を行った。また通訳を 配置し、学校から配布するお便りの翻訳や、教育相談、進路 面談などの通訳を行っている。(甲成28年度は外国人児童生 徒適応指導員2名、通訳3名配置した。)	活、ルールなどを理解するための支援を行った。また通訳を配置し、学校から配布するお便りの翻訳や、教育相談、進路面談などの通訳を行っている。新居小学校において外国人児童の増加傾向があるため、通訳の配置を工夫した。(平成25	外国人児童生徒適応指導員を配置し、日本での生活や学校生 法。ルールなどを理解するための支援を行うた。また通訳を 配置し、学校から配布するお便りの翻訳や、教育相談、進踏 面談などの通訳を行っている。新居小学校において外国人児 童の増加傾向があるため、通訳の配置を工夫した。(平成31 年度は外国人児童生徒適応指導員 2 名、通訳 3 名配置した。)	・外国人児童生徒適応指導員を配置し、日本での生活や学校生 活、ルールなどを理解するための支援を行った。また通訳を 21配置し、学校から配布する便りの翻訳や、教育相談、進路面 談などの通訳を行っている。(令和元年度は外国人児童生徒	外国人児童生徒適応指導員を配置し、日本での生活や学校生活、ルールなどを理解するための支援を行った。また通訳を 配置し、学校から配布する便りの翻訳や、教育相談、進路面談などの通訳を行っている。(令和2年版は外国人児童生徒 適応指導員2名、通訳員3名配置した。)	継続 学校現場からはこの事業に感謝する声が多い。外国人児童 徒は増える傾向にあるので、同様の人数で学校配置を工夫 ながら令和3年度も継続していく。	生学校教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子どもの生 きる力を育 てを教教育 境の整備	学校と保護 6 者の協力関 係の強化	必要に応じて個々面談等を実施したりし、児童生徒のようす については連絡ノート等で常に家庭と連絡を取り合ってい く。	必要に応じて個々面談等を実施したりし、児童生徒のようす については連絡ノート等で常に家庭と連絡を取り合ってい く。	必要に応じて個々面談等を実施したりし、児童生徒のようす については連絡ノート等で常に家庭と連絡を取り合ってい く。	必要に応じて個々面談等を実施したりし、児童生徒のようす については連絡ノート等で常に家庭と連絡を取り合ってい く。	必要に応じて個々面談等を実施したりし、児童生徒のようす については連絡ノート等で常に家庭と連絡を取り合ってい く。	必要に応じて個々面談等を実施したりし、児童生徒のようす については連絡ノート等で常に家庭と連絡を取り合ってい く。	継続 学校だけで子どもを育てることは不可能なので、家庭との 絡は密にとっていきたいと考える。	連 学校教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子どもの生 きる力を育 てるための 学校教備 境の整備	安全教育推 8 進事業の充 実	交通安全教育については湖西警察署と連携し各校で取り組ん でいる。	交通安全教育については湖西警察署と連携し各校で取り組ん でいる。	小学校、中学校において、防災講演会を実施した。	小中学校において、平成30年度は学校行事として防災講演会 を実施した。	小中学校において、令和元年度は学校行事として防災講演会 を実施した。	新型コロナウイルス感染症予防のため、実施無し。	継続 令和3年度の講演会についても学校行事とし、実施そのもの を学校長判断とする。) 学校教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	子どもの生 きる力を育 てるための 学校教育環 境の整備	安全教育推 8 進事業の充 実	幼稚園、保育園ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせての避 難訓練実施。	幼稚園・保育園ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせての避 難訓練を実施。	幼稚園・保育園は、ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせ た避難訓練を実施。	幼稚園・保育園は、ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせ た避難訓練を実施。	幼稚園・保育園は、ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせ た避難訓練を実施。	幼稚園・保育園は、ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせ た避難訓練を実施。	継続 安心・安全教育の推進を図り、自分の身は自分で守る意識 を育てる。	幼児教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	地域・家庭における教育への支援	1 援活動の充	座を受講した。「家庭教育学級」は市内6小学校で開設し、総			「ふたば学線」は市内で8学級開設し、154名が年間9回の講座 そ受講している。「家庭教育学級」は市内6小学校で開設し、 総数138名の保護者が各校8~12回の活動を行った。		「ふたば学級」は市内で8学級開設し、年間9回の講産を予定していたが、新型コナウイルス感染症の影響で今年度は実施しないことが決定している。 「家庭教育学級」も市内6小学校で開設することを予定していたが、新型コナウイルス感染症の影響で今年度は実施しないことが決定している。	「ふたば学級」「家庭教育学級」ともに活動を継続する。 家庭教育支援員を配置し、保護者への学習機会の提供等をう。	行 社会教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	地域・家庭における教育への支援	2 親子体験教 室の充実	地域の環境保護保全活動を実施する団体(湖西フロンティア 倶楽部)へ委託し、7~12月の間に自然観察・体験など4回の 教室を開催した。親子52組・164名の参加者であった。	地域の環境保護保全活動を実施する団体 (湖西フロンティア 倶楽部)へ委託し、5~2月の間に自然観察・体験など7回の教 室を開催した。親子で延べ1,072人の参加者であった。	地域の環境保護保全活動を実施する団体(湖西フロンティア 倶楽部)へ委託し、5~2月の間に自然観察・体験など7回の勢 室を開催した。親子で延973人の参加者であった。	地域の環境保護保全活動を実施する団体 (湖西フロンティア (俱楽部) へ委託し、5~3月の間に自然観察・体験など7回の勢 室を開催した。親子で延659人の参加者であった。	地域の環境保護保全活動を実施する団体 (湖西フロンティア (俱楽部) へ委託し、5~11月の間に自然観察・体験など5回の 教室を開催した。親子で延780名の参加者であった。	地域の環境保護保全活動を実施する団体 (湖西フロンティア 倶楽部) へ委託し、8~2月の間に自然観察・体験など5回の教 室を開催を予定している。親子で延350名程度の参加者を見込 んでいる。	委託により令和元年度と同程度の教室実施を継続する。	社会教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	地域・家庭における教育への支援	環境対策の	青少年補導員425名が114回の補導活動を実施した。市職員に よる立入調査を4日間実施した。街頭キャンペーンは7月・11 月の2回、総数113名で青少年健全育成・子ども若者支援の啓 発を行った。	青少年補導員446名が114回の補導活動を実施した。市職員に よる立入調査を4日、社会環境実態調査を1日実施した。街頭 キャンペーンは7月・11月の2回、総数111名で青少年健全育 成・子ども若者支援の啓発を行った。	青少年補導員496名が113回の補導活動を実施した。市職員に よる立入調査を3日、社会環境実態調査を1日実施した。街頭 キャンペーンは7月・11月の2回、総数107名で青少年健全育 成・子ども若者支援の啓発を行った。	青少年補導員498名が113回の補導活動を実施した。市職員に よる立入調査を2日、社会環境実態調査を3日実施した。街頭 キャンペーンは7月・11月の2回、総数102名で青少年健全育成・子ども若者支援の啓発を行った。	青少年補導員478名が106回の補導活動を実施した。市職員に はよる立入調査を2日、社会環境実態調査を3日実施した。街職 ドャンペーンは7月・11月の2回、総数92名で青少年健全育成・子ども若者支援の啓発を行った。	青少年補導員180名程度が60回程度の補導活動を実施すること を予定している。。市職員による立入調査を2日実施した。社 会環境実態調査を1日実施することを予定している。街頭キャ ンペーンは7月は中止し、11月に行うことを予定している。20 名程度で青少年健全育成・子ども若者支援の啓発を行うこと を予定している。	冬2回の街頭キャンペーンを行うことを継続する。	· 社会教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	障がい・発 達の遅れが ある子ども への支援	3 交流活動の 促進	ふれあい広場等への参加、民生委員や地区福祉会と交流。	ふれあい広場等への参加、民生委員や地区福祉会と交流	ふれあい広場等への参加、民生委員や地区福祉会と交流	ふれあい広場等への参加、民生委員や地区福祉会と交流	ふれあい広場等への参加、民生委員や地区福祉会と交流	新型コロナウイルス感染防止の為、中止。	継続	地域福祉課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	障がい・発 達の遅れが ある子ども への支援	学校施設の ユニバーサ ルデザイン 化	限られた予算の中では際がいのある子どもの入学時に対応す るのが現状。今年度は該当なし。			限られた予算の中では贈がいのある子どもの入学時に対応するのが現状。今年度は新居小学校に多機能トイレの設置するための検討を実施。				た教育総務課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	障がい・発 達の遅れが ある子ども への支援	5 特別支援教 育推進事業	特別支援教育支援員を幼稚園や小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障害をもつ子どもたちの支援にあたっている。 平成27年度は36名配置している。	特別支援教育支援員を幼稚園や小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障害をもつ子どもたちの支援にあたっている。 平成28年度は38名配置している。	特別支援教育支援員を幼稚園や小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。 平成29年度は、幼稚園に10名、小中学校に30名、計40名を配置している。	特別支援教育支援員を幼稚園や小中学校へ配置し、通常学級 に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたってい る。 平成30年度は、幼稚園に10名、小中学校に30名、計40名を配 置している。	特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している時がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。 令和元年度は小中学校に30名配置している。	特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している時がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。 令和2年度は小中学校に30名配置している。	継続 支援・配慮を必要とする児童生徒が増加しているため、同規 機の支援員数を保持して、継続していく。	】 学校教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	障がい・発 達の遅れが ある子ども への支援	5 特別支援教 育推進事業	公立幼稚園の軽度の障害や集団生活の困難さを抱えている園 児に対して障害の緩和やパニック時の安全確保を中心とした 対応、援助を行っている。 特別支援負10人配置。		軽度の障害や集団生活の困難さを抱えている公立幼稚園6 園の園児に対し、障害の緩和やパニック時の安全確保を中心 とした対応・援助を行っている。 特別支援員10人配置。	軽度の障害や集団生活の困難さを抱えている公立幼稚園6 園の園児に対し、障害の緩和やパニック時の安全確保を中心 とした対応・援助を行っている。 特別支援負10人配置。	軽度の障害や集団生活の困難さを抱えている公立幼稚園6 園の園児に対し、障害の緩和やパニック時の安全確保を中心 とした対応・援助を行っている。 特別支援員10人配置。	軽度の障害や集団生活の困難さを抱えている公立幼稚園5個 公立こども園1園の園児に対し、障害の緩和やパニック時の 安全確保を中心とした対応・援助を行っている。 特別支援負10人配置。		幼児教育課
子どもが健 やかに学び 育つための まちづくり	障がい・発 達の遅れが ある子ども への支援	言葉の発達 に遅れがみ られる子ど もへの支援	岡崎小学校に通級指導教室を設置している。市内小学校から 40名ほどの児童が利用している。	岡岡小子校に連載拍导教主を設直している。 円内小子校から 10夕はじの旧会が利用している	岡崎小学校に通報指導教室を設置している。市内小学校から 40名ほどの児童が利用している。「幼児ことばの教室」指導 員、岡崎小学校通報指導教室指導員、学校教育課、幼児教育 課で支援連絡会を定期的にもつことにより連携を図り、移行 支援を充実させた。	40名ほどの児童が利用している。「幼児ことばの教室」指導 員、岡崎小学校通級指導教室指導員、学校教育課、幼児教育	岡崎小学校に通統指導教室を設置している。市内小学校から 40名ほどの児童が利用している。「幼児ことばの教室」指導 員、岡崎小学校通統指導教室指導員、学校教育課、幼児教育 課で支援連絡会を定期的にもつことにより連携を図り、移行 支援を充実させた。	40名ほどの児童が利用している。「幼児ことばの教室」指導 員、岡崎小学校通級指導教室指導員、学校教育課、幼児教育	継続 関崎小学校の通級指導教室指導員、幼児ことばの教室指導 員、教育委員会事務局で連携を保ちながら、指導の充実・体 制の充実を図りたい。	学校教育課
子どもが健 やかいに学び 育つための まちづくり	障がい・発 達の遅れが ある子ども への支援	7 に遅れがみ られる子ど	子育て支援センター:土曜日、隔週1回、指導員2名により 実施	実施	岡崎幼稚園:月〜金曜日、週1回、 子育で支援センター:土曜日、隔週1回、指導員1名により 実施 通級者25人、内6人に改善が見られ、退級。	岡崎幼稚園:月〜金曜日、週1回、 子育で支援センター:土曜日、隔週1回、指導員1名により 実施 通級者33人、内14人に改善が見られ、退級。	岡崎幼稚園:月~金曜日、週1回、 子育で支援センター:土曜日、隔週1回、指導員1名により 実施 通載者34人、内13人に改善が見られ、退級。	岡崎幼稚園:月〜金曜日、週1回、 子育て支援センター:土曜日、隔週1回、指導員1名により 実施 通敏者21人、内4人に改善が見られ、退級または退級予定(令 和2年11月時点)。	継続 軽度の言葉の発達の遅れ解消。	幼児教育課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	まちの安全性の確保	1 る防犯体制	置。 防犯訓練は各園それぞれ年1回以上実施。湖西警察生活安全課	置。	公立幼稚園6園中6園、公立保育園3園中1園に防犯カメラ を設置。 防犯訓練は各園年1回以上実施。 湖西警察署生活安全課等の協力を得て安全教室を開催。	公立幼稚園6園中5園、公立保育園3園中1園に防犯カメラ を設置。 防犯別練は各園年1回以上実施。 湖西警察署生活安全課等の協力を得て安全教室を開催。	公立幼稚園6園中5園、公立保育園3園中1園に防犯カメラ を設置。 防犯別線は各園年1回以上実施。 湖西警察署生活安全課等の協力を得て安全教室を開催。	公立幼稚園5園、こども園1園、公立保育園3園中1園に防犯カメラを設置。 防犯期線は各園年1回以上実施。 湖西警察署生活安全課等の協力を得て安全教室を開催。	継続 園児の安全教育推進。 防犯カメラ未設置の園については今後検討する。	幼児教育課

		分類 No.				第	2 期				
No. 大分類 N	No. 甲分:		事業名	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績(見込)	令和3年度の展望(継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
安心して子 などもをまち らづくり	まちの! 性の確	/P	子どもを守 る防犯体制 の強化	防犯カメラの整備要望なし。	飲料メーカーと地元企業の協同により防犯カメラ寄贈の仕組 みができ、平成28年度は新居小学校へ1台寄贈、設置された。	飲料メーカーと地元企業の協同により訪犯カメラ寄贈の仕組 みができ、平成29年度は岡崎小学校へ1台寄贈、設置された。	飲料メーカーと地元企業の協同により防犯カメラ寄贈の仕組 みができたが、平成30年度の新設実績はなし。 岡崎幼稚園の既設カメラの改修を実施。	飲料メーカーと地元企業の協同により防犯カメラ寄贈の仕組 みができたが、令和元年度の新設業額はなし。 鷲津保育園の既設カメラの改修、および、岡崎幼稚園こども 園事業で防犯カメラを新たに設置した。	白須賀幼稚園、岡崎幼稚園の既設カメラの改修を実施。	継続 防犯カメラの整備を検討していくため。	教育総務課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	1 まちの9 性の確f	安全 1	子どもを守 る防犯体制 の強化	岡崎中学校開校時に防犯カメラを設置したが、現在は故障 中。 予算の関係で修繕のめどは立っていない。 防犯訓練については湖西警察署と連携し各校で取り組んでい る。	岡崎中学校開校時に防犯カメラを設置したが、現在は故障 中。 予算の関係で修繕のめどは立っていない。 防犯訓練については湖西警察署と連携し各校で取り組んでい る。	岡崎小学校では、民間企業の寄付により防犯カメラが設置された。 岡崎中学校では、一部故障中であるが、2か所は機能している。 防犯訓練には湖西警察署と連携と各校で取り組んでいる。 「こども10番の家」が拡充については、各校が地域団体から の協力を得ながら進めている。	小学校では3校、中学校では1校、防犯カメラが設置されている。 防犯制練は湖西警察署と連携し各校で取り組んでいる。	小学校では3校、中学校では1校、防犯カメラが設置されている。 防犯訓練は湖西警察署と連携し各校で取り組んでいる。	小学校では3校、中学校では1校、防犯カメラが設置されている。 防犯訓練は湖西警察署と連携し各校で取り組んでいる。	継続 各校、工夫しながら防犯訓練を進めていく。	学校教育課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	まちの9 性の確	安全 1	の光化	同報無線を利用した、子供向けの防犯情報の提供は実績無。 市民向けの防犯情報を提供しているほか、H28.2月からほっと メールを利用した防犯情報の提供を実施している。 地域ぐるみの防犯体制について検討中。	回報無線を利用した、子供向けの防犯情報の提供は実績無。 市民向けの防犯情報を提供しているほか、ほっとメールを利 用した防犯情報の提供を実施している。(平成28年度実績9 件) 地域ぐるみの防犯体制について検討中。	同報無線と防災ほっとメールを利用した防犯情報の提供を実施している。(平成29年度業績4件) 地域ぐるみの防犯体制について検討中。 南上の原地区 安全安心みまもりの会発足。	同報無線と防災ほっとメールを利用した防犯情報の提供を実施している。(平成30年度実績13件) 地域ぐるみの防犯体制について検討中。	同報無線と防災ほっとメールを利用した防犯情報の提供を実施している。(今和元年度実績9件) 地域ぐるみの防犯体制について検討中。	同報無線と防災ほっとメールを利用した防犯情報の提供を実施している。(令和2年度実績2件)※10月28日現在南上の原安全安心まちづくり協議会において、R2年10月16日より青色防犯パトロール開始。	継続 整察やその他の機関と連携し、防犯情報を市民に周知するこ とは必要であるため。	.危機管理課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	まちの! 性の確f	安全 1 保	子どもを守 る防犯体制 の強化	月に1回、新居地区青少年補導員巡回(防犯パトロール)に 対し、公用車の貸出を行う。	月に1回、新居地区青少年補導員巡回(防犯パトロール)に 対し、公用車の貸出を行う。	月に1回、新居地区青少年補導員巡回(防犯パトロール)に 対し、公用車の貸出を行う。	月に1回、新居地区青少年補導員巡回(防犯パトロール)に 対し、公用車の貸出を行う。	月に1回、新居地区青少年補導員巡回(防犯パトロール)に 対し、公用車の貸出を行う。	月に1回、新居地区青少年補導員巡回(防犯パトロール)に 対し、公用車の貸出を行う。	継続	新居支所
安心して子 どもを育て られるまち づくり	まちの9 性の確f	安全 2 保	地域による 声掛け運動 の推進	登校時は、湖西市交通指導隊、交通ポランティア団体による 立哨。下校時は、地域の防犯ポランティア団体による立哨に より、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あい さつ運動」をH27年度は3回実施。	登校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による 立噂。下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立哨に より、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あい さつ運動」をH28年度は3回実施。	豊校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による 立噂。下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立噂に より、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あい さつ運動」をH29年度は3回実施。	豊校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による立時。下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立時により、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あしさつ運動」をH30年度は3回実施。	登校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による 立時、下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立明に より、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あい さつ運動」をR元年度は3回実施。	豊校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による 立噂。下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立噂に より、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あい さつ運動」をR2年度は2回実施。	継続	危機管理課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	1 まちの9 性の確f	安全 3 保	防犯灯の設 置の推進	平成27年度設置個所 22基。	平成28年度設置箇所 27か所	平成29年度設置箇所 29か所	平成30年度設置箇所 27か所	令和元年度設置箇所 25か所	令和2年度設置箇所 25か所	継続 市民の安全を確保するため。	危機管理課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	まちの5 性の確f	安全 保	道路環境の 整備	18鏡道路反射鏡斬設	42鏡道路反射鏡修繕 7鏡道路反射鏡新設	20鏡道路反射鏡修繕 14鏡道路反射鏡新設	27鏡道路反射鏡修繕 16鏡道路反射鏡新設	27鏡道路反射鏡修繕 15鏡道路反射鏡新設	14鏡道路反射鏡修繕 11鏡道路反射鏡新設	継続 安全な道路整備を進める。	土木管理課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	子どもだ 心して る居場 確保	遊べ」	遊びの広場 の利用促進	子育て支援センターわくわく広場利用者数 19,748人 西部公民館おひさま広場利用者数 5,068人	子育で支援センターわくわく広場利用者数 18,008人 西部公民館おひさま広場利用者数 2,118人	子育で支援センターわくわく広場利用者数 21,691人 西部公民館おひさま広場利用者数 1,975人	子育て支援センターわくわく広場利用者数 20,878人 西部地域センターおひさま広場利用者数 1,745人	子育で支援センターわくわく広場利用者数 17,715人 西部地域センターおひさま広場利用者数 1,234人	4月~10月利用者数 子育て支援センター 9.414人 おひさま広場 242人	継続 天候や気候に関係なく子どもが安心して遊べる場所として定 保証 でさきている。引き続き、遊具の拡充や整備をし、幅広い 年齢の子どもの遊び場として、機能を充実させていく必要が ある。	一 日 し 又 仮
安心して子 どもを育て られるまち づくり	子ども; 心して; る居場; 確保	が安 遊べ 所の 1	遊びの広場 の利用促進	開放日数 115回 (のびのび預かり保育で利用51回使用は含まず) 利用人数 2.208人	開放日数 97回(のびのび預かり保育で利用した38回を含まず) 利用人数 1,849人	開放日数 123回 利用人数 1,593人	開放日数 123回 利用人数 1,863人	開放日数 125回 利用人数 1,632人	広場の開放 年間182日/年間	継続 子どもが安心して遊べ、母親同士の交流の場となっているため。 預かり保育の会場にもなっているため、預かり保育の回数を 増やし、広場の開放日が減少する予定。	ユ☆ケ支煙
安心して子 どもを育て られるまち づくり	子ども; 心して; る居場; 確保	が安 遊べ 所の 2	公園の安全 管理	年4回実施(内1回は業者委託)	年4回実施(内1回は業者委託)	年4回実施(内1回は業者委託)	年4回実施(内1回は業者委託)	年4回実施(内1回は業者委託)	年4回実施(内1回は業者委託)	継続 定期的な点検を行い、安全で快適な公園を維持する。	土木管理課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	ゆとり(3 る住環: 整備	のあ 境の 1	湖西勤労者 住宅利子補 給制度の充 実	新規申請受付134件、支払実績上期826名、下期866名	新規申請受付128件、支払実績上期915名、下期952名	新規申請受付163件、支払実績上期997名、下期1,041名	新規申請受付177件、支払実績上期1,107名、下期1,152名	新規申請受付118件、支払実績上期1,196名、下期1,196名	支払実績上期1,140名、下期1,140名	新規受付停止 利子補給制度を住もっか「こさい」定住促進奨励金に切替え たため。	え 産業振興課
安心して子 どもを育て られるまち づくり	ゆとり(3 る住環 整備	境の 2	市営住宅の 効率的な供 給の推進	裁量世帯(子育て世帯)の入居申し込み 〇件	裁量世帯(子育て世帯)の入居申し込み 1件	裁量世帯(子育て世帯)の入居申し込み 〇件	裁量世帯(子育て世帯)の入居申し込み 〇件	裁量世帯(子育て世帯)の入居申し込み 1件	裁量世帯(子育て世帯)の入居申し込み 〇件	継続	建築住宅課